

報道発表資料
平成22年5月28日
気象庁

第135回気象記念日について
－「気象業務はいま 2010」を刊行します－

平成22年6月1日（火）は、第135回気象記念日です。気象庁では次の記念行事等を行います。

- 1 第135回気象記念日式典を行います。式典の概要は別紙1－1、気象庁業績表彰受賞者は別紙1－2のとおりです。式典は報道機関に公開します（会場内での撮影が可能です）。
- 2 「気象業務はいま 2010」を刊行します。概要は別紙2－1のとおりです。

※ 気象記念日は、気象庁の前身である東京気象台が明治8(1875)年6月1日に設立されたことを記念し、昭和17(1942)年に制定されました。

本件問い合わせ先：気象庁総務部総務課広報室
電話 03-3212-8341 内線(2117)

第 135 回気象記念日式典（概要）

1 日 時 平成 22 年 6 月 1 日（火） 11 時 00 分～11 時 40 分

2 場 所 気象庁講堂

3 式典次第

開式の辞

国歌斉唱

気象庁長官式辞

国土交通大臣あいさつ

国土交通大臣表彰

気象庁長官表彰

閉式の辞

平成 22 年 6 月 1 日付

第 135 回「気象記念日」 気象庁業績表彰受賞者名簿

【国土交通大臣表彰】

1. 船舶（気象通報） 1 隻

気象業務に対する深い理解のもとに多年にわたり海上気象の観測通報を確実に励行し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者		
	所属	船名	備考
1	エム・オー・エルエヌジー輸送株式会社	泉州丸 殿	昭和 63 年, 平成 11 年 長官表彰

【気象庁長官表彰】

1. 委託観測所（個人） 5 名

多年にわたり地域気象観測所の委託観測業務に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	観測所名	被表彰者
1	しょうとしべつ 小利別	佐々木 妃人美 殿
2	なよろ 名寄	石崎 栄 殿
3	ふじわら 藤原	木村 慶英 殿
4	かいだこうげん 開田高原	中平 千賀代 殿
5	すぎしま 杉島	宮下 定博 殿

2. 委託観測所（団体） 35 団体

多年にわたり地域気象観測所の委託観測業務に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	観測所名	被表彰者
1	ひだか 日高	日高町 殿
2	くまいし 熊石	八雲町熊石消防署 殿
3	いしかわ 石川	福島県石川土木事務所長 殿
4	とみおか 富岡	双葉農業普及所 殿
5	かわまえ 川前	いわき市役所川前支所 殿
6	ふだい 普代	普代村 殿
7	たじま 田島	南会津町長 殿

番号	観測所名	被表彰者
8	なかつがわ 中津川	中津川市消防本部 殿
9	つちうら 土浦	土浦市立土浦第二中学校 殿
10	あびこ 我孫子	財団法人 電力中央研究所 殿
11	せきがはら 関ヶ原	不破郡関ヶ原町立関ヶ原小学校 殿
12	さの 佐野	栃木県農業試験場 殿
13	おだわら 小田原	小田原市立城山中学校 殿
14	いかわ 井川	静岡市立井川中学校 殿
15	にしのまき 西野牧	下仁田町教育委員会教育長 殿
16	のべやま 野辺山	信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 野辺山ステーション 殿
17	はらむら 原村	長野県農業試験場原村試験地 殿
18	しらいと 白糸	富士宮市立白糸小学校 殿
19	しらいと 白糸	富士宮警察署白糸警察官駐在所 殿
20	おおうだ 大宇陀	奈良県畜産技術センター 殿
21	いけがわ 池川	仁淀川町役場池川総合支所 殿
22	やわたはま 八幡浜	八幡浜地区施設事務組合消防本部 殿
23	たの 田野	中芸広域連合消防本部消防署 殿
24	きくらえ 桜江	江津邑智消防組合江津消防署桜江出張所 殿
25	しらはま 白浜	白浜町消防本部 殿
26	みのお 箕面	箕面市消防本部 殿
27	ほうふ 防府	防府市消防本部 殿
28	えざるぎ 枝去木	佐賀県上場営農センター 殿
29	いさはや 諫早	諫早市役所 殿
30	ながのやま 長野山	吉川林産興業株式会社 殿
31	みなみおぐに 南小国	南小国町立市原小学校 殿
32	うれしの 嬉野	佐賀県茶業試験場 殿

番号	観測所名	被表彰者
33	とよた 豊田	山口県立西市高等学校 殿
34	あげのしょう 安下庄	山口県農林総合技術センター農業技術部柑きつ振興センター 殿
35	いらぶ 伊良部	宮古島市立伊良部中学校長 殿

3. 船舶（気象通報） 4 隻

多年にわたり海上気象の観測通報を確実に励行し気象業務の発展に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	船名
1	アクトマリタイム株式会社	CELESTIAL WING 殿
2	エム・オー・エルエヌジー輸送株式会社	エネルギーアドバンス 殿
3	ケイラインシップマネジメント株式会社	VALENCIA BRIDGE 殿
4	エム・オー・エル・シップ・マネジメント株式会社	神山丸 殿

4. 船舶（表層水温・海流通報） 2 隻

多年にわたり海洋の表層水温の観測通報に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	船名
1	海上保安庁海洋情報部	昭洋 殿
2	福島県立いわき海星高等学校	福島丸 殿

5. 漁船 7 隻

海上気象の観測通報に積極的に協力し気象業務に寄与した功績

番号	被表彰者	
	所属	漁船名
1	枕崎市漁業協同組合	第2協洋丸 殿
2	旭漁業株式会社	第11旭丸 殿
3	鹿児島県教育委員会	薩摩青雲丸 殿
4	音代漁業株式会社	第七音代丸 殿
5	千葉県	房総丸 殿
6	山田水産工業株式会社	第3邦憲丸 殿
7	松本吉平 殿所有	第十二姫島丸 殿

「気象業務はいま 2010」の刊行について

「気象業務はいま」は、広く国民の皆様にも、気象庁の業務の全体像をご理解いただくことを目的として毎年刊行しており、今回の「気象業務はいま 2010」は、気象記念日（6月1日）に刊行します。

- ・ 特集「気象災害から身を守るために」として、平成 22 年（2010 年）5 月より開始した市町村ごとに発表する気象警報・注意報、竜巻、雷など局地的で激しい気象現象を対象とした 3 種類の短時間予測情報（ナウキャスト）について取り上げました。
- ・ トピックスでは、この 1 年の主な自然災害の状況や気象庁における新たな取り組みを記述しました。特に、平成 21 年の集中豪雨、地震・火山活動の状況や災害軽減に向けた気象庁の取り組み、気象情報の利用促進や地球温暖化に関する取り組みなどについて、ページを割いて紹介しました。
- ・ 「気象業務の現状と今後」では、国民の安全・安心を支える気象、地震・火山、地球環境・海洋等の情報の改善や関係機関との連携等の取り組み、気象業務に関する技術開発や国際協力について、平易に解説しました。また、最近の気象・地震・火山・地球環境について、平成 21 年の状況を中心に簡潔にまとめました。

「気象業務はいま 2010」の構成は別紙 2 - 2 のとおりです。

「気象業務はいま 2010」は、6 月 1 日以降、全国の書店及び政府刊行物センターから注文販売で取り扱います。また、気象庁ホームページの「気象庁関連の刊行物・レポートページ」にも掲載します。

(<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>)

「気象業務はいま 2010」の構成

○特集 「気象災害から身を守るために」

【特集1】 市町村を対象にした気象警報・注意報の発表と情報の利用環境の充実
本年5月から、気象警報・注意報を、市町村を対象区域として発表するとともに、警戒すべき災害を理解しやすいよう警報の改善を図りました。

【特集2】 竜巻、雷など局地的な激しい気象現象による被害の軽減に向けて
～短時間予測情報（ナウキャスト）の提供～

竜巻、雷、局地的な大雨のように、狭い範囲に発生する激しい気象現象を対象に、ナウキャストと呼ばれる3種類の短時間予測情報（「竜巻などの突風の発生確度（竜巻発生確度ナウキャスト）」「雷の活動度（雷ナウキャスト）」「降水の強さ（降水ナウキャスト）」）を発表しています。

これらについての気象庁の取り組みを、情報の利用方法などとともに紹介しています。

○トピックス

- (1) 平成21年7月中国・九州北部豪雨および台風第9号
- (2) 平成21年台風第18号
- (3) 平成21年8月11日の駿河湾の地震
- (4) 50年目のチリ津波
- (5) 気象情報の利用促進に向けたデータ標準化の取り組み
- (6) 気候サービスのための世界的な枠組みの構築に向けて
- (7) 温室効果ガスの観測・監視の強化と世界に向けた情報提供
- (8) 温暖化の観測・予測及び影響評価統合レポート「日本の気候変動とその影響」
- (9) 桜島の火山活動

○第1部 気象業務の現状と今後

第1章 国民の安全・安心を支える気象情報

- (1) 気象の監視・予測
- (2) 地震・津波と火山の監視・予測
- (3) 地球環境・海洋の監視・予測
- (4) 航空の安全などのための情報
- (5) 民間気象事業

第2章 技術開発・研究開発の推進

第3章 気象業務の国際協力と世界への貢献

○第2部 最近の気象・地震・火山・地球環境の状況

○参考資料 全国気象官署等一覧、用語集、索引